

ケアプランの目標設定

～ ニーズを充足するための目標設定 ～

公益社団法人 大阪介護支援専門員協会

研修センター部長 三浦 浩史

アセスメントの流れ

- 
- 総合的な情報収集
 - 情報の整理
 - 情報の関連性の検討・分析
 - **課題**の把握と整理
 - 本人の意向（望む暮らし）の言語化
 - 長期目標・短期目標の検討

思考プロセスに沿って、一緒に考えてみよう！

2 情報の分析

① 課題整理総括表の「見通し」から「望む暮らし」を一緒に考える

ポイント：生活機能の「活動」「参加」がどうなれば幸せですか？

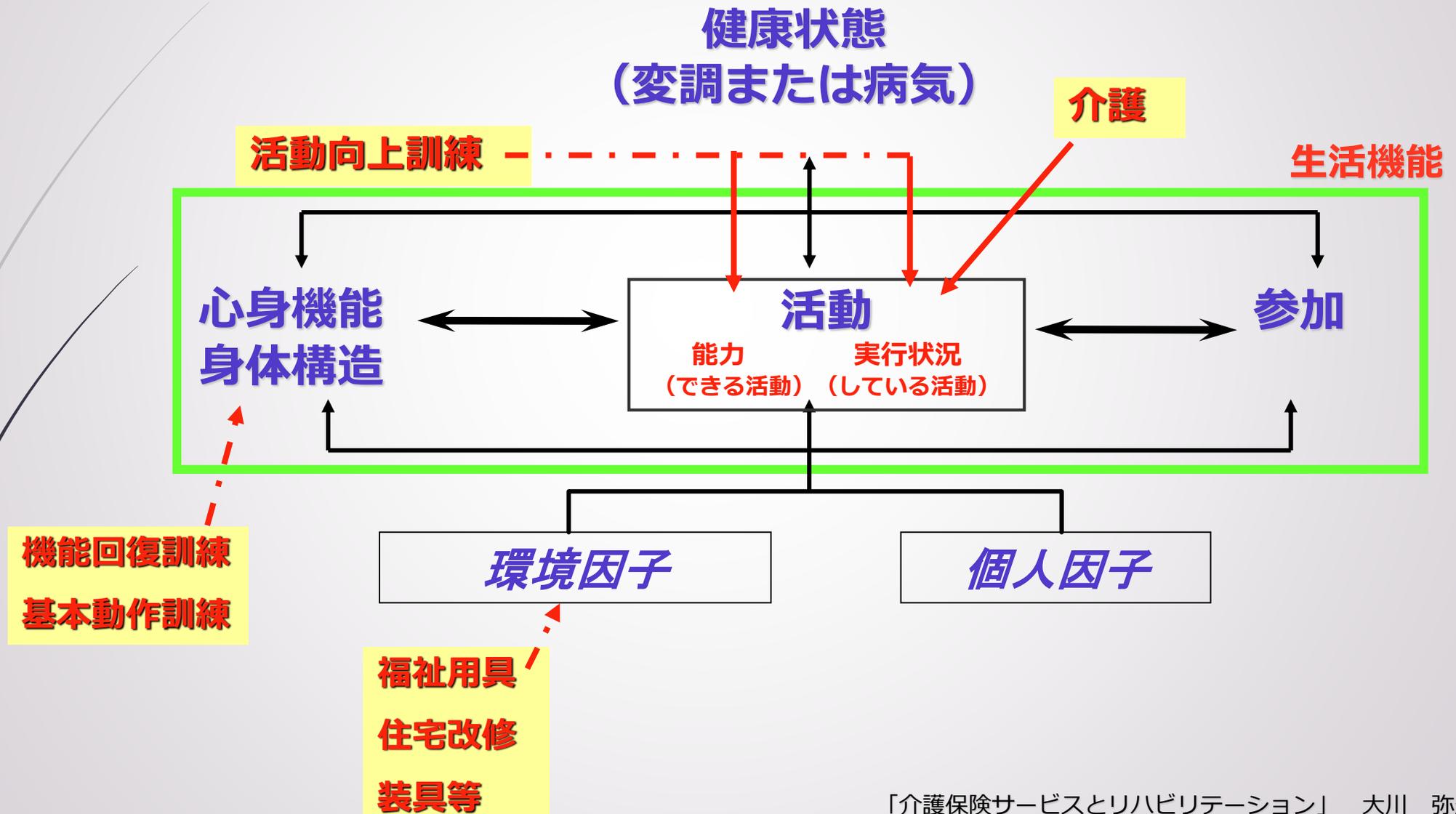
② 「望む暮らし」のための「ニーズ」を抽出

ポイント：望む暮らしに必要な要素（現状とのギャップ）は何ですか？

③ ニーズを充足するための「目標」を考えよう

ポイント：本人が「したい」ことを一緒に考え、気づいてもらう

ICFの構成要素間の相互作用



望む暮らし

ケガする前のように、自分のことは自分で
できるようにになりたい

『ニーズ』

- ①身のまわりのことを自分でしたい
- ②一人で買い物に行けるようになりたい
- ③夫のお墓参りにいけるようになりたい
- ④もう骨折はしたくない
- ⑤友達と立ち話できるようになりたい